



# かたしな



I C T機器を活用した小中学校の授業風景

## 主 な 内 容

- ◆ 臨時議会開催、議会構成決まる（第2回臨時会）…………… 2 ～ 3
- ◆ 6月議会定例会で決まったこと…………… 4 ～ 5
- ◆ 一般質問…………… 6 ～ 7
- ◆ 常任委員会…………… 8 ～ 9
- ◆ 戸倉ダム建設の調査・研究特別委員会設置、議会改革特別委員会…10 ～ 11
- ◆ むらづくりに対する特別委員会…………… 12
- ◆ 議案内容及び議決一覧、ようこそ有権者…………… 13
- ◆ 議会活動…………… 14

# 臨時議会を開催

## ～議会構成決まる～

5月14日開催の令和3年第2回臨時議会では、議長に千明道太議員、副議長に萩原正信議員が選出され、各常任委員会及び議会運営委員会の委員長・副委員長そして委員が選任されました。

また、議会広報編集特別委員会の

委員長・副委員長そして委員の選任及び、利根東部衛生施設組合議員の選挙、専決処分の報告、片品村固定資産評価員の選任、片品村一般会計補正予算等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

### 議長あいさつ



片品村議会議長  
千明道太

このたび、議員各位のご推挙をいただき、片品村議会議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、この重責を果たすため、渾身の努力を重ねて参ります。

昨年来からの、新型コロナウイルス感染症のまん延から、世界中が災いに巻き込まれ、片品村でも村民生活をはじめ、経済活動まで大打撃を受けております。村民生活の支援に向け、議会として

心優しい判断と素早い対応を致す所存です。

議会は、二元代表制の一翼を担う大切な機関として、行政とは常に緊張感を持ちながら議論を重ね、村民の声を受け、村政に反映するとともに、議会に求められる役割を果たせるよう、議員の力を結集し、この難局に立ち向かって行くとともに政策や事業を提案していくことが重要です。

議会のあり方が問われている今、議員一人一人が資質の向上に努め、村民に期待され、その期待に応えられるよう、努力を続けてまいりたいと考えています。皆様のさらなるご支援と、ご協力を中心からお願ひ申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

### 副議長あいさつ



片品村議会副議長  
萩原正信

このたび、議員各位のご推挙により、副議長の大役を仰せつかりますことは、身に余る光栄であり、職の重さを痛感しております。議長の補佐役として、村政発展に努めるとともに、公平かつ円滑な議会運営に努める所存であります。

いまだ、収束の目処が立たない新型コロナウイルス感染症ですが、ワクチン接種が進み平穏な日々が来ることを願うばかりであります。今後、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。どうかよろしくお願ひします。



## 議会運営委員会

◎千明 勉 ○星野 吉弥 北澤 佳子  
狩野 孝夫 萩原 和典 後藤 眞平

議員相互の連携、研鑽を図り、さらなる村づくりのために努力して参りますとともに、開かれた議会活動に努め、議会としての役割を果たして参ります。

これからもよろしくお願いいたします。

(委員長 千明 勉)



## 産業民教常任委員会

◎狩野 孝夫 ○後藤 眞平 飯塚 美明  
星野 栄二 千明 勉 鹿野 一郎

5月臨時会に於きまして、産業民教常任委員長に就任いたしました。主な所管は、農林建設課、保健福祉課、教育委員会、給食センターです。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、ワクチン接種も高齢者の皆さんを中心に進められておりますが、まだまだ予断を許せません。

国からの補助金支援で様々なコロナ対策事業を村当局に行っておりませんが、さらなる支援策やインフラ整備、子育て支援、教育事業等について委員会一丸となり、施策の提案なども行っていきます。

1年間、よろしくお願いいたします。

(委員長 狩野 孝夫)



## 総務観光常任委員会

◎北澤 佳子 ○萩原 和典 千明 道太  
高山 悦夫 萩原 正信 星野 吉弥

このたび、所管課が変更となり5月臨時会に於きまして、委員各位のご推挙をいただき、総務観光常任委員長に就任いたしました。

ワクチン接種も村内で始まっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響が今だ予断を許しません。

このような状況下ではありますが、委員全員新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っておりますので、村民の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

(委員長 北澤 佳子)



## 議会広報編集特別委員会

◎高山 悦夫 ○北澤 佳子 飯塚 美明  
星野 栄二 萩原 正信 狩野 孝夫

6名のメンバーで力を合わせ「議会だより」発行を担当します。

議会のことや議会活動などを村民の皆様に、わかりやすく的確に伝えられるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

(委員長 高山 悦夫)



## 第2回臨時議会で決まったこと

### 専決処分

■片品村税条例の一部改正

### 同意事項

■次の者を片品村固定資産評価員に選任することが同意されました。  
・星野孝行（鎌田）

■令和3年度片品村一般会計  
補正予算（第1号）

補正額 2,700万円

補正後の合計 34億4,800万円

### 人事

■利根東部衛生施設組合議会議員の選挙

星野 栄二 飯塚 美明 千明 勉  
萩原 和典 千明 道太

# 6月議会定例会で決まったこと

令和3年第3回片品村議会定例会（6月議会）を6月4日から11日までの8日間にわたり開催しました。

執行部からは「令和3年度一般会計補正予算」及び「繰越明許費繰越計算書の報告」「条例の制定及び一部改正」等が提案されました。

その後議会は、予算説明会、各常任委員会を開催し本会議で審議のうえ、全ての議案を可決しました。

また、議員発議により戸倉ダム建設の調査・研究特別委員会設置と、委員長・副委員長そして委員の選任が行われ、原案どおり可決されました。

## 令和3年度 6月補正予算

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計(第2号)	3,448,000	52,374	3,500,374

## 主な一般会計補正内容

(単位：千円)

歳 入		
地方交付税	普通交付税	22,982
国庫支出金	新型コロナウイルスワクチン対策費国庫負担金	6,831
	国立公園等資源整備事業費補助金	1,500
	特定感染症検査等事業費補助金	6,081
	学校保健特別対策事業補助金	230
県支出金	愛郷ぐんまプロジェクトと連携した地域限定クーポン券等の付与事業費補助金	11,000
雑収入	群馬県市町村振興協会コミュニティ事業助成金等	3,750
歳 出		
総務費	新型コロナウイルス特別対策事業等	19,105
民生費	社会福祉事業	264
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業等	12,920
商工費	地域限定クーポン券等の付与事業等	15,250
消防費	発電機購入事業	2,789
教育費	小学校遊具整備事業等	2,046

## 令和2年度 一般会計繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

項目	事業名	金額	翌年度繰越額
総務費	社会保障・税番号制度システム整備費補助事業	11,351	1,304
衛生費	新型コロナウイルス予防接種事業	8,863	3,247
農林水産業費	KGS森林情報整備業務	2,728	2,728
	航空写真データ背景図取込業務	297	297
商工費	観光・シティープロモーション活動事業	49,000	47,000
	交通支援事業	10,000	9,000
	片品村内外観光サイン看板工事	7,270	4,762
土木費	細工屋橋 橋梁耐震・耐荷補修工事	53,000	34,600
	細工屋橋 橋梁補修・耐震・耐荷補修工事設計書作成業務委託	4,200	4,200
	片中校庭夜間照明LED改修工事	17,450	17,450

## 令和2年度 下水道事業等特別会計繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

項目	事業名	金額	翌年度繰越額
建設費	北部浄化センター増設実施設計業務	23,271	20,250
	北部浄化センター線 道路改良工事	22,000	14,700
	下水道処理区マンホール蓋交換工事	8,700	8,700

## 条例の制定・改正・一部改正

件名	概要
特別職の職員で常勤のものとの給与の特例に関する条例について	令和3年6月1日から令和3年8月31日までの間、特例として、村3役の給与について10%の減額を行うもの
押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について	村民等の負担の軽減及び利便性の向上を図るため、行政手続における押印の廃止及び署名の見直しを行うため、関係する条例を改正するもの
片品村公告式条例の一部を改正する条例について	須賀川、中井及び古仲の3カ所の告示用掲示板について、誠道公民館、下小川集会所及び土出公民館の敷地内へ移設する手続きとして、条例の一部を改正するもの

## 陳情審議結果一覧表

6月定例会において審議された陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
令和3年 5月18日	陳情第3号 尾瀬高校ハートフルのホストファミリーへの片品村の支援についての陳情書	片品村花咲 2797-496 ペンション銀河 梅木誠 片品村花咲 911 民宿 山太屋 山崎カツ子 片品村花咲 1585-60 ペンションポップコーン 佐久間真樹子	産業民教 常任委員会	採択





## 村政を問う!

## 一般質問



星野 吉弥 議員

当村のコロナワクチン接種も、5月24日以降65歳以上の対象者から始まり10月末には全村民完了予定と伺い、一安心しているところです。又、県内市町村議会定例会も多くが開催され、一般質問も質問者数等の記事が掲載されています。他の市町村議員に劣ることなく精一杯、質問と提案をします。よろしくお願いします。

### 新型コロナウイルス対策地方創生臨時交付金事業について

**問(1)** 新型コロナウイルス臨時交付金等に対応した事業の項目数及び、総事業費額はどの位になりますか。

**答(村長)** 新型コロナウイルス感染症

対応地方創生臨時交付金に係る本村の事業は、項目数で43事業、総事業費については、令和3年度に繰り越して、現在も実施している事業があることから、実績値ではお答えすることができませんが、約3億1千万円を見込んでおります。うち、すべてが国の地方創生臨時交付金を財源として充てられる予定であります。

**問(2)** 提案として村民一律若しくは、介護保険料負担者のうち75歳以上の高齢者及び高校生以下の子供達等を対象に、第2弾「応援プレミアム商品券」等の支援策を講ずる考えはありますか、他の議員も思いは同じだと思えますが、いかがでしょうか。

**答(村長)** 昨年5月、住民の生活支援として、全村民を対象として、1人につき1万円分の商工会商品券の給付を行い、同じく昨年12月からは、村内経済の活性化と村内消費喚起のため、「がんばる片品村民応援プレミアム付商品券事業」として、プレミアム率100%の商品券を発行しました。この2つの事業については、昨年実施

した村の独自事業の中でも、村民の皆様から特に好評でありました。こうした商品券事業は、県内のいくつかの市町村においては、これから実施されるようですが、これは、昨年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の大部分を繰り越して実施するものです。

今後、こうした事業を行うには、財源の確保が必要となつて参ります。ただし、議員ご提案のとおり、高齢者や若者への支援の必要性は十分に感じており、昨年度に実施した商品券事業のような施策が有効かとも考えております。

一般財源を充当した、村の単独予算による執行も視野に入れ、さらには、コロナウイルスの今後の感染状況も考慮しながら、様々な支援策を検討して参ります。

### 星野吉弥議員

多岐にわたる村民支援策について、多くの皆さんが喜んでいられると思います。一般財政も限りがありますが、当村から「コロナよ、おさらば」の気概を持って支援策の検討をお願いいたします。

### ふるさと納税寄付金について

**問(1)** ふるさと納税制度は、平成20年より導入され、13年

目となります。当初数年間の寄付額は数百万円程度でしたが、平成27年に「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設され急激に寄付件数・金額が増加しています。

令和2年度寄付金の件数及び金額は令和元年比較でどのような数値か伺いたい。

### 答(村長)

令和元年度のふるさと納税寄付金は、表のとおりであり、件数、金額ともにそれぞれ増加しています。

### (別表 図1-1)

**問(2)** 各区紹介分実績が広報5月号に掲載されましたが、各区の取扱件数等並びに今後、ふるさと納税寄付金を増加させるための、手立て取組案等伺いたい。

### 答(村長)

各区におけるふるさと納税の紹介の状況は別表(図1-1)のとおりです。広報5月号に掲載させていただいた寄附金額合計及び区への還元額につきましては、令和2年1月から12月までの実績額となっております。

寄附金を増加させるための手立て、取り組みについては、寄附金の区への還元制度に関しましては、これまで、区役員会議や広報等でお

知らせして参りましたが、改めて制度についてご説明し、区への還元金は各区で実施する事業等に、自由に活用できることなど周知したいと思っております。

また、機会を見て村外の知人や親戚、同窓会や宿泊客とといった方々へパンフレットを配布していただくなど、引き続き積極的に幅広くお願いをして参ります。

さらに、村が策定した計画に対し、企業が寄付をすると税額控除の軽減措置が受けられる「企業版ふるさと納税」の導入も今後検討しており、多くの企業に対し、広く募集をしていきたいと考えております。

毎年、寄附金額は増加しており、今後も、魅力的な返礼品を随時追加するとともに、より効果的な宣伝に努め、寄附金のさらなる増加につなげたいと考えております。

### 星野吉弥議員

より一層のアイデア工夫を期待しております。私からの提案として村民の意見や、将来を担う片中生へのアイデア募集や、「税と暮らし」ではありませんが、「中学生議会」でのテーマとして、提言をいただければ村民の関心も少しづつ浸透していくと思っております。

## 第2期群馬県高校教育改革推進計画について

**問** (1) 群馬県では本年3月に、「第2期群馬県高校教育改革推進計画」を策定しましたが現在、利根沼田地区に5校16学級ありますが、令和13年度に於いては5〜2校13〜9学級の計画がなされております。尾瀬高校は地元にとって必要不可欠な学校と考えます。存続に向けて今後、近隣市町村・同窓会・活性化委員会との連携した運動と、手法等考えを伺います。

### 答 (教育長)

第2期群馬県高校教育改革推進計画は県全体の課題克服へ向けた計画であり、利根沼田すべての高校が対象となります。

管内市町村の動向はもとより、各教育委員会の意見交換などで得た情報や片品村教育委員の考えを集約し、尾瀬高校内の組織であるPTAや同窓会・活性化委員会などへ情報提供し、地元にとって必要不可欠な学校である尾瀬高校存続へ向けての協力をしていきたいと考えております。

### 星野吉弥議員

尾瀬高校は利根・片品両村の強い要望活動により昭和37年4月沼田分校として開校し、更に昭和43年4月1日武尊高校として独立開校し、昨年度末迄に約6千名弱の卒業生を送り出しています。その半数近くは当村出身の卒業生です。統合問題の質問は、村民の皆様への情報提供の意図もあります。存続に向けご協力をお願いします。

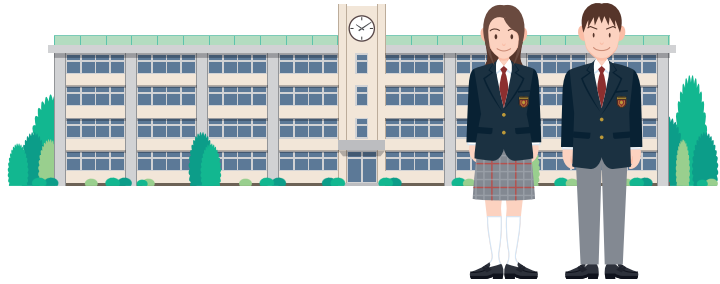
別表 (図-1)

年度	件数	金額	前年比	
			件数	金額
令和元年度	1,584	52,833,500円		
令和2年度	2,105	58,155,000円	521件	5,321,500円

別表 (図-2)

(単位:円)

	件数	寄付金額	区還元額
1区	49	693,000	207,900
2区	1	48,000	14,400
3区	9	1,245,000	373,500
4区	12	589,000	176,700
5区	7	688,000	206,400
6区	10	1,085,000	325,500
7区	1	10,000	3,000
8区	15	349,000	104,700
合計	104	4,707,000	1,412,100



### ※参考資料

#### 1. 利根沼田地区中学校卒業見込者 (第2期群馬県高校教育改革推進計画より抜粋数字)

卒業年度	令和3年3月	令和8年3月	令和13年3月	令和17年3月
卒業見込者数	641	553	484	400
増減 (令和3年3月比)		-88	-157	-241

#### 2. 片品村の児童・生徒数 (令和3年4月現在)

##### 小学校

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
17	21	22	30	24	31	145

##### 中学校

1年	2年	3年	合計
24	28	27	79

#### 3. 片品中学校・高校進学先一覧表

卒業年度	進学者数	利根沼田管内					県内	県外
		尾瀬高	沼高	沼女	利根実	利根商		
平成30年度	41	20	3	4	6	4	3	1
令和元年度	24	6	5	2	4	1	4	2
令和2年度	36	18	4	7	2	2	3	0



# 総務観光 常任委員会

## 協議事項

所管事務について

**問** サエラ跡地の太陽光の固定資産税は確定しましたか、その場合の税額と、また国保税の減免に対する申請件数がどのくらいあるのか、そちらについても件数と金額がわかれば教えてください。

**答** (住民課長) 工事は全て終了して、売電が始まっておりまして、土地の固定資産税の課税については、令和2年度から始まっており、令和3年度の分も課税しております。国民健康保険税の減免の関係については、減免の申請件数が44件で、そのうち対象件数が20件です。金額については、20件の合計が3百70万4千2百円であります。

**問** 6月定例会において、議員発議で戸倉ダム建設の調査・研究特別委員会を設置するが、総合計画を担当する村づくり観光課と、地域

防災計画と国土強靱化の対策事業を担当する総務課に特別委員会に係る所管課として同席して運営に当たればと思うが、行政側の考えをお聞きしたい。

**答** (村長) 村の体制は各課一体となつてやっていくということですので、委員会から依頼があれば関係する課の職員を同席させていただきまして、いずれにしても、とにかく村で一体となつて建設して欲しいという姿勢が一番大事だと思えますので、その方針でこれからやっていきたいと思えます。

**問** 農業と観光についての提案ですが、農業の体験等を観光の目玉にしたらどうか。トウモロコシや新鮮野菜等の宣伝をするためにオリジナルのぼり旗を作る等、特に目を引くような宣伝文句を考えたりしてはどうか。

**答** (むらづくり観光課長) 農業の体験については、農林建設課や生産者団体とも協議をして検討していきたいと思えます。

のぼり旗についても来た方の方に目に留まりやすい施策だと思えます。いつも来ていただいている方は雰囲気が変わったとか、初めて来る方は他と違う印象を持っていただいて、村全体が盛り上がりつつある雰囲気を感じてもらえると思えますので、検討をしていきたいと思えます。

**問** 尾瀬ブランドについてですが、道の駅でコーナーを作っているのか。村や観光協会のホームページに掲載が見当たらないのでもっとPRすべきではないか。

**答** (むらづくり観光課長) 道の駅の尾瀬ブランドのコーナーは現在、設けていません。認定された30品目のうちのほとんどが道の駅の組合員なので、商品を提供していただければコーナーを作ることは可能です。ホームページ等のPRにつきましても、現在、掲載がなくてPR不足のところがありますので、ホームページだけでなくSNSの方法を使って認知度を高めていきたいと思えます。

また、ホームページについては早急に対応していきたいと思えます。

**問** いろんなイベントをこれからやっていく中で、片品村としてのコロナ対策はもろろのことですが、開催についてどういう見解を持っているかお聞きしたい。

**答** (むらづくり観光課長) イベントにつきましては、感染対策ができれば開催できるのではないかと思います。主催者からの依頼があった場合は、まずは感染対策の確認を重視して検討していきたいと思えます。

(委員長 北澤 佳子)







# 産業民教 常任委員会

## 協議事項

陳情について

【令和3年陳情第3号】

尾瀬高校ハートフルのホストファミリーへの片品村の支援についての陳情書

### 意見

全国各地から尾瀬高等学校に通う自然環境科のハートフル制度利用の生徒の多くが片品村の住民となり、スーパーやコンビニ、飲食店、理髪店などの多くの店舗で消費し、地域経済にも貢献しており、将来片品村に住むことも予想されます。全国的にも珍しいハートフル制度と片品村にとって必要不可欠な尾瀬高等学校を存続させることは重要であることから、本陳情の趣旨を理解し、ホストファミリーへの支援を検討すべきであり、採択とする。

### 所管事務について

**問** 昨年度、議員全員と各区長さんの立会いの下、重点要望事項の箇所の現地視察を行ったが、その箇所の進捗状況と今後の整備予定はどうなっているか。

**答**（農林建設課長）

重点要望については8行政区で15項目ありました。15項目中、実施済みが5項目。今年度予算計上等で実施予定が6項目。現地確認等の検討事業が4項目となっておりあります。

### 問

利根郡内の市町村でも公共工事の発注業務を電子入札に移行しているところも見受けられるが、コロナ禍で取り巻く状況が変化している中、村でも電子入札を導入して効率化をはかっているかどうか。

**答**（村長）

利根沼田の中では沼田市とみなかみ町は導入済みで、片品村と川場村と昭和村は未導入になっています。予算的な問題もありますが、現在未導入の郡内の自治体とも連絡、調整を取りながら、今後、検討する必要があると考えています。

**問** 今行われているコロナウイルスワクチン接種で、接種を希望しないという人の把握ができていますか。

**答**（保健福祉課長）

今受付をしているのは高齢者のみですが、希望しな

い人については、現在把握はしていません。

今現在、85%ぐらいの高齢者の方の接種の予約が入っています。

内訳的には、集団接種で千40人予約が入っていて、率にして60・9%です。

個別接種の片品診療所と星野医院については、両方とも村内の方については百50名程度ずつの予約が入っていて、見込みで24・1%ぐらいを見込んでいます。

合計で85%ぐらいの方の予約は済んでいますので、残り15%の方は接種を希望していないのか、沼田市内の病院に予約をしているのか、確認ができていません。

**問** 5月26日の上毛新聞で、児童相談所が昨年受けた児童虐待相談件数の記事が掲載されていたが、片品村で虐待相談や通報の情報はあ

るのか。

**答**（保健福祉課長）

令和2年度の実績ですが、相談のあった件数については、児童数で10名、その児童のいる世帯は5世帯です。件数的には、学校から4件、教育委員会から2件、家族から4件相談が寄せられています。



### 問

閉山した根羽沢鉦山について、産業遺産や歴史探究、尾瀬のもう一つの楽しみ方といったような観光資源になる可能性があるのか、その史料収集や調査をしてみてはどうか。

**答**（教育長）

教育委員会の中に文化財調査委員会の方がおりますので、相談させていただきま

**答**（村長）

学術的な価値はあると思いますので、調査研究して観光につながればと思います。

# 戸倉ダム建設の 調査・研究特別委員会



委員長 星野 栄二  
委員 野塚 長  
委員 後藤 眞平  
委員 他全議員が

## 就任あいさつ

6月定例議会において、千明勉強会運営委員長より「戸倉ダム建設の調査・研究特別委員会」設置の発議があり、全員賛成で可決され、その委員長に互選されました。

平成15年に建設中止となつた戸倉ダムを令和3年度から始まつた「国土強靱化のための5か年加速化対策事業」を活用して、治水目的

## 趣旨説明

「戸倉ダム建設の調査・研究特別委員会」設置の趣旨説明は次のとおりです。

での建設の見直し及び村民の意向、その必要性に関する事項の調査・研究を行つていきたいと思つたので、村民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

## 計画

戸倉ダムは、昭和47年頃から計画が始まり、利水・治水の共同事業として水資源機構により、片品川、利根川の洪水調節及び、埼玉県東京都等への水道用水の供給を目的として計画されました。

昭和62年、建設事業に着手し、平成10年に環境影響評価に着手、平成14年に環境影響評価書公告縦覧を行い、平成15年まで、一部の付け替え道路等の工事を実施しました。

## 計画の中止

しかし、平成15年12月、大口の事業費を負担する埼玉県が「水需要の縮小」を理由に撤退を表明、東京都等も追随し、最終的な中止が決まりました。中止となりました戸倉ダムの計画では、総貯水量9,400万トンで、八ッ場ダムの9割の規模、湛水面積200haで、八ッ場ダムの3分の2の規模でありました。

## 新しい取り組みへ

また、計画時の建設費用は1,230億円の予算規模でありました。

戸倉ダムの予定地は水没人家が無く、土地の取得も進み、片品村民は完成を願つていました。

本年、令和3年度から始まりました、「国土強靱化のための5か年加速化対策事業」の重要対策では、「近年の頻発化、激甚化する水災害に対応するため、

豪雨災害対策として流域治水という新しい取り組みが始まりました。」

集水域に治水ダムを建設して、洪水流量を貯めることにより、河川に集まる洪水のピーク流量をカットすることができ、下流域の被害を最小限にすることができ、との考え方によるものです。

片品川上流の集水域である戸倉地域に治水目的のダムを建設することは、片品川流域はもとより、下流の利根川流域の被害を最小限に抑える上で役割は大きく、気象災害が大型化している現状を捉えて、再度「戸倉ダム建設の見直し、村民の意向、その必要性を調査・研究する」ため設置するものであります。



# 議会改革特別委員会活動報告

令和元年5月に就任しました星野栄二議長より「議会は執行部と緊張感をもち、切磋琢磨し、活発な活動を行い、村民に開かれた議会としていきたい」との議会改革の提案がありました。

そして、『議会基本条例の策定と、村民の声を議会活動に反映するためにアンケート調査を実施したい』、この様な諮問があり、平成元年9月に議会改革特別委員会を設置しました。

議会基本条例では

①村民に開かれた議会

②行政の監視および評価を行う議会

③政策立案や提言を行う議会

を3本柱としています。



## 具体的な活動は

- ①について：開かれた議会とするため、定例会初日の模様をインターネット中継しています。  
 ③について：「国土強靱化対策」の中で、総合計画後期基本計画に利用できる国の補助事業等を提案し、以下の項目が後期基本計画に追加となりました。

### ・戸倉ダムの建設推進のための調査・研究

国土強靱化対策では、激甚化する気象災害の被害を最小限にするため、河川の流域治水対策として、治水ダムの建設がある。

そこで治水ダムとして、戸倉ダムの役割・必要性はどうか調査を

### ・村営・村有住宅の建設

老朽化した公営住宅の建設が補助事業の対象になっています。

### ・避難場所の電源に太陽光発電システムの導入についての調査・研究

災害時の無停電化のための事業が、補助事業の対象になっています。

### ・新名所づくりのための調査・研究

観光客を増やし、地場産業を活性化させる必要があるのでは。



## ワンポイント解説 “防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策、15兆円の事業規模”

1 2 3 項目の対策を、重点的・集中的に令和3年度より5か年の中で講じていく国の重要政策です。

## アンケート結果

令和2年9月に村民の皆様にはアンケート調査をお願いいたしました。この調査の中で、議員定数・議員報酬について質問、その結果を参考に協議、次の2案となり、賛成同数により現状維持との結果になりました。

### ・議員定数は12名（現状で）、議員報酬は現状で（賛成6名）

- ☞ 議会には2つの常任委員会があり、各委員会には6名の委員が必要

### ・議員定数は10名、議員報酬はアップで（賛成6名）

- ☞ 若い人が議員になりたいと思えるような報酬にすることが必要

## アンケート調査結果

### 議員定数

多い	44%
現状でよい	40%

### 議員報酬

高い	23%
現状でよい	47%

## お知らせ

これまで、総務文教と観光産業の2つの常任委員会でしたが、所管課の片寄りがあり、これを修正して同じ所管課数とするため、令和3年4月より常任委員会が変更となりました。

### ○改正案

名 称	所 管	課の数	課長職、合計人数
総務観光常任委員会 (委員数 6名)	総務課、住民課、むらづくり観光課、選挙管理委員会、監査委員会の所管に関する事務及び他に属さない事務	3	総務課長、住民課長、むらづくり観光課長、会計管理者の4名
産業民教常任委員会 (委員数 6名)	農林建設課、農業委員会、保健福祉課、教育委員会の所管に関する事務	3	農林建設課長、保健福祉課長、教育委員会事務局長、給食センター所長の4名

2年間の議会改革特別委員会の活動報告です。紙面の都合により全てを報告できませんが、片品村議会が、議会の活性化に積極的に取り組んできたことが評価され、令和3年2月に全国町村議会議長会より表彰されました。

# むらづくりに対する特別委員会

## ～研究会レポート第1回～



檜枝岐村役場で育てている山ぶどう

昨年、村民の皆様に行ったアンケート調査結果を踏まえ、議会ではむらづくりに対する特別委員会を設置しました。二つの分科会に分かれてテーマを設定し、調査研究、提案を行うものです。

### 産業民教分科会

#### テーマ

空き地、空き家、耕作放棄地対策

#### プロジェクト名

山ぶどうの栽培と特産品の開発



頂き物の単管で垣根を自作



片品の地の利を活かした山ぶどうの栽培、加工、商品化ができれば、片品村にとって魅力的な特産品となることを目標とします。

これまでに、県の普及センター等の指導をいただき、昨年十二月、苗木、挿し木用の枝、約四百本を採取。花咲と越本に試験農場を準備して、その後、栽培の先進地である福島県



檜枝岐村を視察し、四月三十日、垣根づくり、苗木の植え付けを行いました。現在育成状況を観察中。

### 総務観光分科会

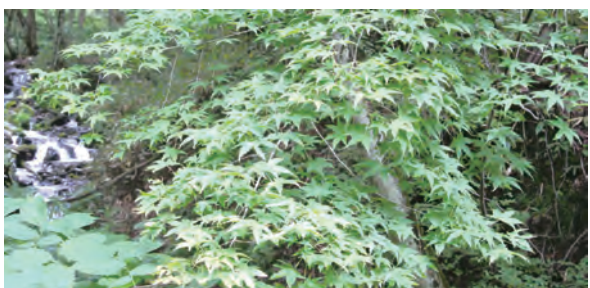
#### テーマ

何をすべきか

#### プロジェクト名

『かたしな色葉』  
開発

自然豊かで、準高冷地から高冷地帯に属する当村の地の利を活かし、短時間での商品化が可能な『葉っぱ』の販売と「働く喜び」の目標設定



です。

これまでに、二月三日にはJ A片品等との打合せ、更には三月下旬に東京都豊洲市場での勉強会を行う予定でしたが、東京都の緊急事態宣言延長のため開催できず、条件緩和後行う予定です。

また、農業振興をスムーズに図るための『農政懇談会』を各関係機関と連携し、開催する予定です。



## 第2回臨時議会の主な議案内容及び議決一覧

議案番号	議案内容	議決結果	議員名	萩原和典	狩野孝夫	鹿野一郎	星野栄二	北澤佳子	星野吉弥	千明 勉	後藤眞平	萩原正信	高山悦夫	千明道太	飯塚美明
報告第1号	専決処分の報告	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	片品村固定資産評価員選任	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和3年度片品村一般会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第3回定例議会の主な議案内容及び議決一覧

議案番号	議案内容	議決結果	議員名	萩原和典	狩野孝夫	鹿野一郎	千明道太	北澤佳子	星野吉弥	千明 勉	後藤眞平	萩原正信	高山悦夫	星野栄二	飯塚美明
議案第32号	特別職の職員で常勤のものとの給与の特例に関する条例の制定	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	片品村公告式条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	令和2年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	令和2年度片品村下水道事業等特別会計繰越明許費繰越計算書	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	令和3年度片品村一般会計補正予算(第2号)	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	戸倉ダム建設の調査・研究特別委員会設置	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

※欠席議員は「-」で、議長は「\」で表示

# Welcome ようこそ 有権者

## 18歳からの選挙権

群馬県立尾瀬高等学校 普通科2年 林 彪吾 さん



私達は、18歳から選挙権を持つ事ができます。選挙権を持ち、行使することができる、行えることは、自分が今考えていることを投票できるということですが、これは、私にとってもプラスの事だと思えます。なぜなら、自分と似た考えの立候補者に自分の思いを託して、今以上に良い生活を送るチャンスをもたらすことができるからです。

でも、実際に投票できるようなったとしても、「どうしたら良いのか分からない」という人や、「選挙に興味がない」という人も中にはいると思います。このような事は、非常に大きな損をしていると思います。せっかく自分の考えを反映することができなのに、放棄してしまうことになりません。私は、たとえ自分の考えが反映されなかつたとしても、実際に投票してみると行動がとても大切だと思います。そして、自分の意見が反映されれば自分が思う新しい生活を送れるだけではなく、自分の行動力がさらに上がる事になります。選挙というのは、自分が投票しなければ何も言う権利はありません。そのためにも、一人ひとりが今の現実と向き合い、考えることが大切だと思います。そうすれば、今の日本や私達の住む地域が、さらに良い方向に進化するのでないかと思えます。そのためにも、若者から高齢者まで幅広い意見が必要になります。私は、しっかりとこの事に向き合っていく、今何ができるのかを考えていきたいです。私は、自分の意見を積極的に言える人間になりたいです。そして、選挙権を得たら実際に自分の考えを投票してみたいです。

みんなで自分の考えを投票して、日本や私達の住む地域を変えていきたいと思います。

## 議会活動目誌

**4月** 23日 金精道路開通式  
26日~27日 むらづくりに対する特別委員会行政視察

**5月** 7日 議会運営委員会  
" 議員会  
14日 第2回議会臨時会  
26日 議会運営委員会  
" 議会全員協議会

**6月** 2日 武尊山山開き  
4日 第3回定例会 開会  
" 議会全員協議会 (補正予算説明)

**6月** 9日 産業民教常任委員会  
" 総務観光常任委員会  
11日 第3回議会定例会 閉会  
" 議会改革特別委員会  
" むらづくりに対する特別委員会  
" 戸倉ダム建設の調査・研究特別委員会  
" 議会広報編集特別委員会  
20日 日光白根山山開き  
30日 利根東部衛生施設組合第2回臨時議会

**7月** 15日 第5回片品村中学生議会

## かたしなフォトギャラリー



武尊山山開き



日光白根山山開き

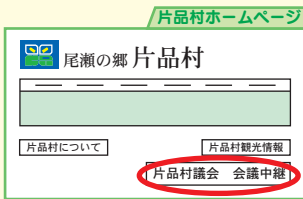
○傍聴のお知らせ 次回定例会は、9月9日(木)の予定です。

9月議会を傍聴しませんか！

一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答は片品村公式ホームページ(HP)の議会録画中継にて動画を閲覧できます。

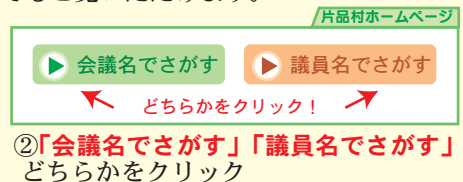
○議会録画中継について 片品村ホームページURL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

年4回の定例議会開会日の模様を動画(録画)配信していますので、是非ご覧ください。  
☆携帯電話でもご覧いただけます。



### 視聴方法

①片品村ホームページ  
トップ画面右側  
「片品村議会 会議中継」  
をクリック



②「会議名でさがす」「議員名でさがす」  
どちらかをクリック

### 議会広報編集特別委員会

委員長	高山	悦夫
副委員長	北澤	佳子
委員	飯塚	美明
委員	星野	栄二
委員	萩原	正信
委員	狩野	孝夫

編集委員長 高山 悦夫

山々の緑も一段と濃さを増し、片品の本格的な夏の訪れを感じる季節となりました。この度の第2回臨時議会に於いて、議会広報編集特別委員会に選任されました。村民の皆様には丁寧なご指導をお願いし、議会のことや議会活動など、わかりやすく伝えられるような議会だよりにしたいたいと思っております。今、世の中にはコロナやオリンピック、パラリンピックなど大変な問題が山積しておりますが、コロナワクチンの接種も順調に進んでおり、僅かながら明るい兆しが見えてきたような気がいたします。片品村においてもコロナやオリンピックは経済的に大きな影響があり、一日も早い収束を望んでおるところです。人口減少や高齢化社会となっておりますが、未来を担うことも達のためにも村民一丸となり、平穩でしかも希望と活気にあふれた村を築いていきたいと思います。

### 編集後記

発行 片品村議会

責任者 千明 道太

編集

議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)